
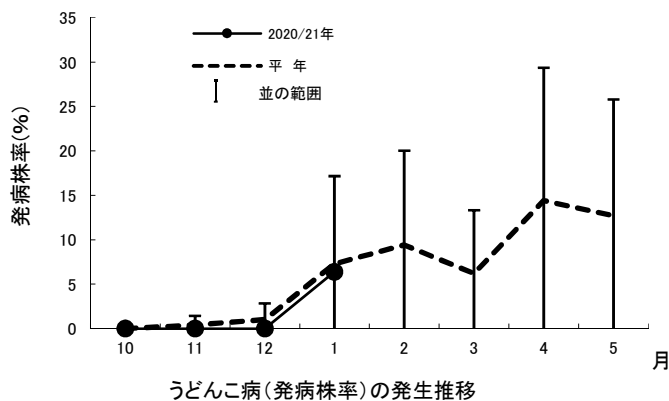


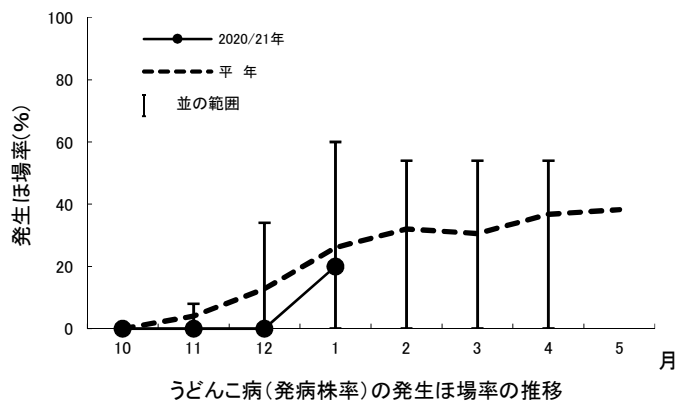
作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	うどんこ病		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	1 月からの増減傾向	↗	
	2 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

(平均)




発生ほ場率



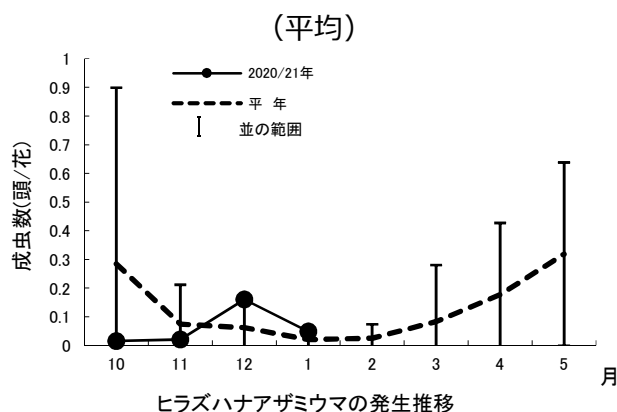
防除のポイント

- ・ 通風が悪いときに多発生しやすいので、老葉を除去し、透光通風を良くする。
- ・ 多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・ 今後、発生が増加すると考えられるので防除を徹底する。
- ・ 多発すると防除が困難となるので、葉をよく観察し早期発見・防除に努める。

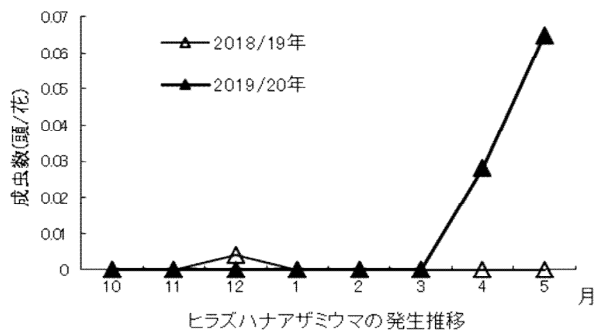
- ・ 分生子の形成・発芽適温は、25～30℃である。

作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	ヒラズハナアザミウマ		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	1 月からの増減傾向	→	
		2 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

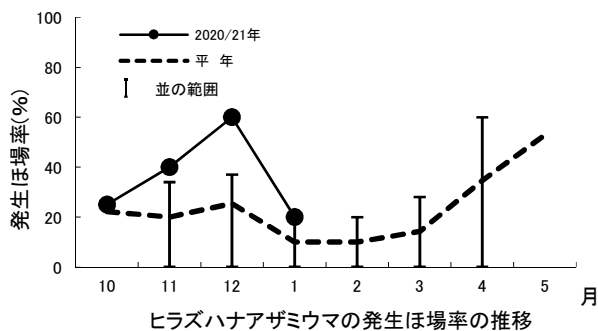
調査結果



過去 2 年間の推移




発生ほ場率



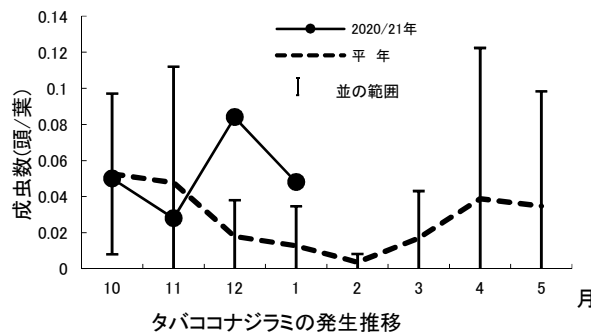
防除のポイント

- ・ 本種は主に花に寄生し、多発すると産卵により果実へ夕部や果梗部が黒変する。
- ・ 施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・ 繁殖力が高く多発すると防除が困難になるため、初期防除に努める。
- ・ 発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・ 同系統薬剤の連用を避ける。
- ・ 天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない薬剤を選定する。

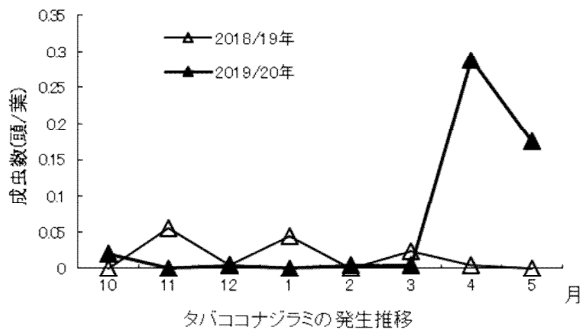
作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	① タバココナジラミ		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	多	
予報	1 月からの増減傾向	↓	
	2 月の発生量 (平年比)	多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓) 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み	

調査結果

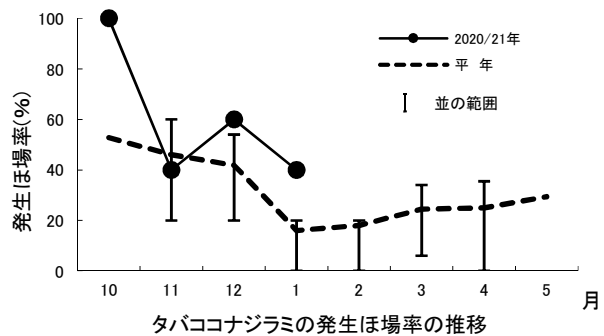
(平均)



過去 2 年間の推移



発生ほ場率



防除のポイント

- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・本種は、多発すると果実の着色異常やすす病を引き起こすため、早期発見防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。

